東京文化会館 リラックス・パフォーマンスへようこそ!

「リラックス・パフォーマンス」とは、通常の公演と異なり、完全な静寂でなくても鑑賞を楽しめる環境の公演です。クラシック音楽のコンサートが初めての方も、発達障害や自閉症などでホールでの音楽鑑賞に不安がある方も、あらゆる人が一緒に音楽を楽しめるように様々な工夫をしています。たとえば…

- 客席の照明を完全に暗くしません。
- 上演中に休憩が必要になった場合は、客席外に出ることができます。
- 十分なパーソナルスペースを確保してお座りいただけるように、予め定員を少なく設定しています。
- 聴覚障害や聴こえに不安がある方でも音楽を身体で感じられるように、体感音響システム付きの座席を用意しています。

お願い

ホールの中では食べたり飲んだりできません。

携帯電話やアラーム付き腕時計などは電源を切りましょう。

公演の写真撮影、録音、録画はできません。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力ください

- 会場内ではマスクの着用をお願いします。スタッフもマスクなどを着用しておりますのでご了承ください。
- 咳エチケットやこまめな手洗い、手指の消毒にご協力ください。
- 人と人との距離を最低1mあけるよう努め、ソーシャル・ディスタンスの確保にご協力ください。
- 大きな声での会話や演奏者への声援はお控えください。
音楽や演奏が気に入ったら、演奏が終わったときに大きな拍手をお願いします!

東京文化会館 Tokyo Bunka Kaikan

60th Anniversary

東京文化会館の取り組み～あらゆる人が音楽で交流できる社会をめざして

東京文化会館ではアートによる多元共生社会の実現に向けて、アートが持つ「創造性」「協調性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質(QOL)の向上や共生社会実現につながる様々な取り組みを行っています。年齢や障害、社会的ハンディキャップのあるなしにかかわらず、あらゆる人々が音楽鑑賞や音楽創造体験に参加できる機会の提供や、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わることができる環境の整備に向けた取り組みを大切にしています。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

主催:東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京
特別協力:ゼンハイザージャパン株式会社／パイオニア株式会社／株式会社フルノシステムズ
助成:
文化庁 文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

お問合せ:東京文化会館 事業係　03-3828-2111(代表)
t-bunka.jp　@tbunka_official

ARTS COUNCIL TOKYO

Tokyo Bunka Kaikan Relaxed Performance

東京文化会館 リラックス・パフォーマンス

～世代、障害を越えて楽しめるコンサート～

Concert for Everyone

2021年(令和3年) 11月3日(水・祝)

14:00開演　公演時間約60分／休憩なし

Wed (National Holiday), Nov 3, 2021 14:00
Approximate Running Time: 60 minutes/No intermission

東京文化会館 小ホール
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、アンケートをオンラインで実施しております。
公演終了後、アンケートにご協力ください。

プログラム　Program

1 ムソルグスキー（加藤昌則編曲）：組曲『展覧会の絵』より「プロムナード」

MUSSORGSKY (arr. KATO Masanori): "Promenade" from *Tableaux d'une exposition*

ロシアの作曲家ムソルグスキーは、亡くなった友人の画家の展覧会を訪れたあと、この組曲を作曲したと言われています。この「プロムナード」は絵を見ながら歩いている様子を表しています。

ピアノ五重奏

2 エルガー（阿部海太郎編曲）：愛の挨拶 Op.12

ELGAR (arr. ABE Umitaro): Salut d'amour, Op.12

イギリス人作曲家のエルガーの代表作のひとつ。エルガーが愛する女性へ贈った作品で、ピアノのために書かれました。今日は特別にピアノ五重奏にてお届けします。

ピアノ五重奏

3 吉松 隆 ： アトム・ハーツ・クラブ・カルテット Op.70 第1・4楽章

YOSHIMATSU Takashi: *Atom Hearts Club Quartet*, Op.70-1st and 4th movements

1997年に「70年代のプログレッシブ・ロック風の弦楽四重奏を」という依頼で作曲されました。お腹に響くビート、次々と変化するメロディ、うねるようなリズムを感じてみましょう。

弦楽四重奏

4 ストラヴィンスキー（アゴスティ編曲） ： バレエ『火の鳥』より「魔王カスチェイの凶悪な踊り」

STRAVINSKY (arr. AGOSTI): "Danse infernale du roi Kastcheï" from *L'Oiseau de feu*

恐ろしい魔王カスチェイの庭に忍び込んだ王子。魔王に捕われた王女を助けようとしていると、魔王が現れ、王子は石に変えられそうになります。すると火の鳥がやってきて、王子とともに魔王をついに倒します。この曲は魔王が手下たちと現れる場面の音楽です。

ピアノ独奏

5 ヨハン・シュトラウス2世：皇帝円舞曲 Op.437（抜粋）

J.STRAUSS II: Kaiser-Walzer, Op.437 (excerpts)

ワルツの王、シュトラウス2世。ドイツ皇帝とオーストリア皇帝にちなんで名付けられたこの作品は、シュトラウス2世の数あるワルツのなかでも、とりわけ堂々とした華やかな1曲です。

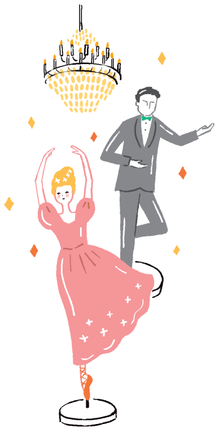
弦楽四重奏

6 ポルディーニ：踊る人形

POLDINI: Dancing Doll

原曲はハンガリーのピアニストで作曲家のポルディーニがつくったピアノのための作品。小さな人形が軽やかに踊る様子が目に浮かびます。

ヴァイオリン&ピアノ



7 ドビュッシー：『ベルガマスク組曲』より 第3曲「月の光」

DEBUSSY: *Suite bergamasque*-No.3 "Clair de lune"

月の光がどこか切なく水面を照らしています。ドビュッシーは19世紀フランスのパリで活躍した作曲家で、画家モネたちと同じ「印象派」の仲間です。細やかさやふんわりした感じの音楽が特徴です。

ピアノ独奏

8 アンダーソン：プリンク プランク プルンク

ANDERSON: Plink, Plank, Plunk!

弦を指ではじく「ピチカート奏法」で演奏されます。タイトルの「プリンク、プランク、プルンク」は英語でそれぞれポロンポロン鳴らす、板、はじくという意味。演奏者の手元にご注目ください。

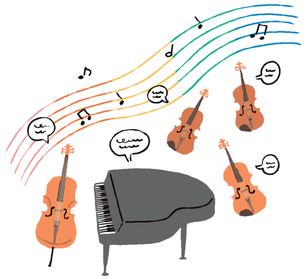
弦楽四重奏

9 ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲第2番 イ長調 Op.81より 第3・4楽章

DVOŘÁK: Piano Quintet No.2 in A major, Op.81-3rd and 4th movements

チェコを代表する作曲家ドヴォルザークによる作品。第3楽章はチェコの伝統的な踊り「フリアント」を意識した速い部分と甘くゆったりとした部分からできています。第4楽章は軽快なテンポ。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノがまるで話し合っているかのように、メロディや音色、曲の雰囲気が移り変わっていく様子に耳を傾けてみてください。

ピアノ五重奏



出演&プロフィール　Performers & Profiles

ピアノ：小林海都　Piano: KOBAYASHI Kaito

©Michel Cooreman

*第11回東京音楽コンクールピアノ部門第2位
*2nd prize of Piano section at the 11th Tokyo Music Competition

世界的ピアニスト、ピリス氏による若手音楽家育成プロジェクト「パルティトゥーラ・プロジェクト」の一員として世界各地で活動するほか、ソリストとしてもこれまでにデュメイ氏と度々共演するなど各地のオーケストラと共演。現在、バーゼル音楽院にてマルティネス=メーナー氏に師事。2021年リーズ国際ピアノ・コンクール第2位および最優秀室内楽演奏賞。

弦楽四重奏：HONOカルテット　String Quartet: HONO Quartet

第1ヴァイオリン：岸本萌乃加
*第9回弦楽部門第1位
第2ヴァイオリン：林 周雅
ヴィオラ：長田健志
チェロ：蟹江慶行

1st Violin: KISHIMOTO Honoka
*1st prize of String section at the 9th Tokyo Music Competition
2nd Violin: HAYASHI Shuga
Viola: NAGATA Kenshi
Cello: KANIE Yoshiyuki

2018年1月に、東京藝術大学在学中に結成された弦楽四重奏団。古典作品を中心に取組む。これまでに宗次ホール弦楽四重奏コンクール第3位、秋吉台音楽コンクール第1位等を受賞。各メンバーはソリスト、室内楽奏者として各地で活躍するほか、読売日本交響楽団、東京交響楽団等オーケストラ団員としても活動している。

構成・ナビゲーター：桜井しおり　Creation & MC: SAKURAI Shiori

（東京文化会館ワークショップ・リーダー）　(Tokyo Bunka Kaikan Workshop Leader)

©ヒダキトモコ

桐朋学園大学音楽学部、同大学研究科卒業。仲道郁代氏にピアノ演奏を師事し、在学中より氏のアシスタントとして音楽ワークショップ活動をはじめ、これまでに世界11ヵ国の演奏家や参加者と活動。世界各国の伝統音楽を取入れた音楽ワークショップの企画実施を手掛ける。一般財団法人地域創造おんかつサブコーディネーター。

手話通訳：加藤裕子、小松智美、瀬戸口裕子、山崎 薫

Sign Language Interpreters: KATO Yuko, KOMATSU Tomomi, SETOGUCHI Yuko, YAMASAKI Kaoru

照明：乳原一美（東京文化会館）　音響：末廣友紀（東京文化会館）